



未収金目標及び具体取組内容調査書

所属	市会事務局	担当	総務担当	債権整理番号(3ケタ)	016	債権区分	私債権	債権名	議員報酬及び政務活動費の不当利得返還金
----	-------	----	------	-------------	-----	------	-----	-----	---------------------

1. 令和4年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和4年度修正目標=令和4年度当初に、令和3年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和4年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度		合計(過年度+現年度)	B1
-----	----	-----	--	-------------	----

「A」…目標達成、「B1」…取組みは予定通り実施したが、目標は未達、「B2」…取組みを予定通り実施できず、目標も未達、「-」…当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分						合計			
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア =前年度ケ'	イ =ア-ウ (▲=増加を表す)	ウ	エ	オ	カ =イ+エ+オ	キ =エ÷ウ	ク =カ÷ア	ケ =ウ-(エ+オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' =エ'+オ'	キ' =エ'÷ウ'	ク' =カ'÷ウ'	ケ' =ウ'- (エ'+オ')	キ" =(エ+エ') ÷(ウ+ウ')	ク" =(カ+カ') ÷(ア+ウ')	ケ" =ケ+ケ'
A	0	▲ 14,115	14,115	0	0	▲ 14,115	0.0%	-	14,115							0	0.0%	-	14,115
B	14,115	0	14,115	0	0	0	0.0%	0.0%	14,115							0	0.0%	0.0%	14,115
C	14,115	0	14,115	14,115	0	14,115	100.0%	100.0%	0							0	100.0%	100.0%	0
D	14,115	0	14,115	0	0	0	0.0%	0.0%	14,115	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	14,115
E	0	0	0	0	0	0	-	-	0							0	-	-	0
F	14,115	0	14,115	14,115	0	14,115	100.0%	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	0
G	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0

3. 令和4年度決算見込における未収金実績の状況 (区分別の未収債権の件数・未収金残高、債務者数) … 未収債権の件数及び債務者数については、色付け箇所のみ、整数で入力。未収金残高については、色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数で入力

(残高の単位:千円)

分類	回収債権									整理債権						合計		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		⑯	
未収債権の件数				1						1							0	1
未収金残高				14,115						14,115							0	14,115
未収債権の件数										0							0	0
未収金残高										0							0	0

【未収債権の件数及び債務者数並びに分類の考え方】  
 ① 未収債権の件数は、原則、調定件数とする。調定をまとめて行っている場合は、事実上の債権の件数とする。(例:毎月の定期給付債権の場合、1人の債務者につき、1年間で12件の債権が発生していることとなる。)  
 ② 1つの債権で、連帯債務者や連帯保証人が設定されている場合であっても、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考え、3の表は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。  
 ③ 債務者が死亡した場合、相続人が複数いる場合、相続割合に従い、債務者が相続される(債務が分割して相続される)が、調査票上、未収債権の件数は1件、債務者数は1人と考える。  
 それぞれの相続人で、未収債権の状況が異なる場合、3の表は、相続された債務額の最も大きい相続人の状況で分類する。同額の場合は、未収債権の状況の進捗が最も進んでいる者の状況で分類する。  
 ※ 未収債権の進捗状況 … ①→②→③ ⇒ 回収債権: (④→⑤)又は⑥又は⑦又は⑧又は⑨ / 整理債権: (⑩又は⑪又は⑫→⑬)⇒⑭又は⑮→⑯

令和4年度  
決算見込に  
おける  
債務者数  
1  
人

令和4年度決算見込における  
未収債権の件数(過年度+現年度)  
1  
令和4年度決算見込における  
未収金残高(過年度+現年度)  
= 上記2のD(令4実績)のケ'  
14,115

4. 令和4年度の取組内容の検証など

	過年度	現年度
取組内容	訴訟係属中	—
取組実績	令和3年12月23日 一審判決(本市の敗訴) 令和4年1月5日 控訴提起 令和4年7月1日 二審判決(本市の敗訴) 令和4年7月11日 上告受理申立て	—
課題	不当利得返還請求訴訟において、その法的性質等が争点となっており、係争中。	—
改善策	—	—

5. 令和5年度の取組内容 … 「1. 令和4年度の修正目標(=未収金残高目標)の達成状況」及び「4. 令和4年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

	過年度	現年度
取組内容	訴訟係属中	—